

一般社団法人 日本衣料管理協会

2020年度 事業計画書

概要

当協会は、生活の用に供する繊維製品の品質の管理に関する知識および技術の普及向上を図ることにより、繊維製品の生産、流通および消費の改善合理化に寄与するとともに国民の健全な衣生活に資することを目的としている。この目的を実現するために、主に衣料管理士（T A）および繊維製品品質管理士（T E S）の認定、並びにT A・T E S資格者の育成・発展策を推進してきた。

近年、我が国の繊維・ファッション産業は、大量閉店やブランド撤退に加え、海外生産の浸透や流通・販売チャンネルの変化など厳しい情勢にあり、当協会を取り巻く環境は大きく変化している。

この状況下、今年度は来る2021年12月に迎える50周年記念事業に向けての準備を進め、T AやT E Sにかかわる優先度の高い施策に取り組む。

I. 2020年度事業計画の重点ポイント

1. 衣料管理士（T A）の認知度向上、活性化を図る

18歳人口の減少、大学・短期大学における被服学科の減少に伴い、T A養成校および養成人数が減少しており、この減少トレンドは深刻さを増している。大学と協調し、T Aが魅力的で、かつ将来社会において役立つ資格であることを、大学および社会に広報する活動を積極的に推進する。さらに、T A養成校のリード役を担う、若手教員のスキルアップのためのセミナーを企画する。

2. 繊維製品品質管理士（T E S）の社会的認知度を高め、将来構想を策定する

第39回T E S試験を6試験場で実施する。出願者数の漸減が気になりではあるものの、2,200名以上の出願がある。T E S試験を品質管理や人材の高度化の手段ととらえ、チャレンジさせる企業や団体が増えている状況もあり、経営層などに対してさらなるT E Sの活用をPRする。また、地場産業など地域に根ざす企業、寝装寝具・インテリア・産業用繊維関連メーカーなどに、幅広くPRすることで受験者のすそ野を広げる。

さらに、T E Sの将来構想についてプロジェクトで検討する。

3. 50周年記念事業を企画し推進する

2021年12月に50周年を迎える。社会や会員に対して、当協会の存在意義をアピールし、当協会ならではのインパクトのある催しを企画し、推進する。

4. 情報発信の充実を図る

ホームページの充実を図り、利用者がスピーディに、わかりやすい情報が得られるように見直す。

5. 出版物の改訂により、最新情報にアップデートする

時代の流れ、法令やJ I Sの改正など、T E S受験テキストを改訂する。

Ⅱ. 具体的活動計画

1. 衣料管理士（T A）関連事業

（1）T A交流会〔T A部会：T A交流プロジェクト〕

社会で活躍するT Aが、学生に対して資格取得の意義、社会で役立った知識、就職活動などの経験談を伝え、学生のT A取得に対するモチベーションを高めて、T A取得希望者を増やすことを目的としている。昨年度実施の養成大学および学生から好評を得ており、今年度も、T Aの集い幹事、T A資格を有する常任委員を中心に実施するが、講師選定および当日の担当者の負担軽減を模索しながら推進する。

今年度の実施予定大学は15大学である。

実施予定月	学校名
4月	・大阪樟蔭女子大学 ・新潟青陵大学短期大学部
6月	・大阪産業大学 ・東京家政大学
7月	・京都女子大学 ・神戸松蔭女子学院大学 ・椋山女学園大学
9月	・実践女子大学
10月	・共立女子大学
11月	・鎌倉女子大学
12月	・東北生活文化大学
2021年3月	・大妻女子大学 ・名古屋学芸大学
未定	・日本女子大学 ・武庫川女子大学

（2）年次報告書の審査〔大学部会〕

大学からの年次報告書に基づき、カリキュラム編成、単位数、教員組織、施設設備など関係事項を審査基準に従って審査する。

時期	内容
6月末日	報告書の提出締め切り
8月7日	審査
9月	結果通知の送付

（3）T A資格の認定

認定大学において、協会認定・登録カリキュラムを履修して卒業した学生に交付する。

①日程

時期	内容
11月初旬	認定証交付申請要領の大学への送付
2021年2月上旬	認定証交付申請書の提出締め切り
2021年3月31日	認定日

②「テキスタイルアドバイザー実習」受入先の拡大

関東圏での実習受入先が不足しているため、T E S会などに協力を仰ぎ実習先を拡大する。

(4) 「T Aの集い」活動への支援【T A部会】

関東、中部、関西の3支部において、会員相互の情報交換および自己研さんのために、勉強会や見学会などを実施しており、今年度もこの活動に対してサポートする。また、T A交流会の運営方法については前述のとおり改善を加える。

(5) T Aワーキング【基準部会、大学部会】

T Aの認知度向上、認定基準の見直しなど、T Aにかかわる課題解決に向け、ワーキンググループを立ち上げ、検討する。

2. 繊維製品品質管理士（T E S）関連事業

(1) T E S試験の実施・認定・登録【T E S試験委員会】

①新規登録試験（第39回）

日程	内容
4月1日	要項公示
5月1日～5月20日	出願受付
7月12日	試験日 【試験場】 ・東京試験場……文化学園大学 ・名古屋試験場……名城大学 ・関西試験場……京都女子大学 ・福井試験場……福井大学 ・倉敷試験場……倉敷ファッションセンター 倉敷市児島産業振興センター ・福岡試験場……福岡ファッションビル
9月上旬	合否判定
9月中旬	合否通知
10月5日	登録申請受付締め切り
11月1日	認定日

②登録更新試験（第4期、9期、14期、19期、24期、29期、34期の1,528人が対象）

登録更新試験免除者は591人、登録更新試験受験者は937人である。

日程	内容
3月中旬	試験要領通知
4月1日～4月15日	代替措置受付
4月下旬	代替措置可否の通知
6月1日～6月末日	試験受付
9月上旬	合否判定
9月中旬	合否通知
10月5日	更新申請受付締め切り
11月1日	認定日

③「繊維一般」試験における「職歴免除」・「学歴免除」を今年度より廃止する（「T A資格免除」のみ有効）。

④「繊維一般」、「製造・品質」、「流通・消費」の短答式において、マークシートを導入する。

(2) 苦情衣料品収集【T E S部会：苦情衣料品収集プロジェクト】

JIS L 0001の表示記号の付いた苦情衣料品を収集し、今後のT E S会活動および50周年記

念事業などに活用する。現メンバーは、TES会各支部、(一財)ボーケン品質評価機構、(一財)カケンテストセンター、(一財)日本繊維製品品質技術センター、関西繊維商品めんてなんす研究会であるが、アパレル企業やクリーニング団体などへも声がけし、より多くの事例を収集する。

(3) TES会活動への支援【TES部会】

①各支部活動への支援

東日本・西日本(九州を含む)・中部・北陸・中国支部における勉強会、研究会、見学会などの自己研さん活動、およびTES相互の情報交流が活発に推進できるようTES会活動をサポートする。

また、「支部合同交流会・幹事会」の開催に向けて検討する。

②関連する行政機関との連携

経済産業省や消費者庁との情報交換会を開催し、最新の情報を入手するとともに行政との連携を強化する。

③『TES会通信』の発行(4月、6月、8月、10月、12月、2021年2月)

(4) TES将来構想プロジェクト【TES試験委員会、TES部会】

中長期的な視野に立ち、これからのTESのあるべき姿、制度、試験内容などについて、プロジェクトを立ち上げ検討する。

3. 出版事業【出版部会】

(1) TES試験参考テキスト【TES試験委員会】

①『新訂3版 繊維製品の基礎知識シリーズ(3分冊)』改訂(12月)

改訂部分：正誤表部分、家表法・JIS改正への対応、時代の変化への対応

編集委員：TES試験委員会(委員長・副委員長)、TES部会委員ほか

②『試験問題集』発刊(11月)

4. 研修関連事業【研修部会】

(1) TA養成教員のためのセミナー

『染色加工学』、『消費生活論』テキストの発刊を機に、秋に東京でセミナーを開催する。

(2) TA養成教員のためのブラッシュ・アップ講座

北陸エリア、近畿エリアを候補地とし、2021年3月に実施する。

5. 調査関連事業【調査部会】

衣料の使用実態調査、トピックス調査については、2019年度実施分のデータを分析し、報告書を刊行する。

本年度は従前の日本国内にとどまらず、中国、韓国、台湾の学生を加え、国際調査とする。これにより衣料の消費実態やライフスタイル観、また前回結果と比較することで時代の変化を読み取る。

(1) 衣料の使用実態調査

	2019年度実施分	本年度
対象者	学生…28校、890人	学生…28校
依頼時期	2019年11月19日	2020年秋
回収	2020年2月	2021年2月
報告書刊行	2020年12月	2021年11月

(2) トピックス調査

	2019年度実施分
テーマ	メイクとファッションに関する調査
対象者	学生…28校、890人
依頼時期	2019年11月19日
回収	2020年2月
報告書刊行	2020年秋

(3) 就職状況調査

3月卒業のTA取得者の就職先を、4月に各大学へ調査を依頼し、その結果を6月にフィードバックする。

6. 広報事業

(1) TA関連【TA部会】

高校生・大学生にも理解しやすく、平易な表現でイラストを多く入れ、ソフトなイメージのパンフレットを作成し、広報活動を推進する。

①大学新入生向け

- ・ポスターやパンフレットを会員大学へ送付する（3月）

②高校生向け

- ・ポスターやパンフレットを全国約1,300の高等学校の家庭科教員へ送付する（5月）
- ・全国高等学校協会「家庭部会報」、「会員名簿」に広告掲載
- ・全国高等学校家庭クラブ連盟「Future Homemakers of Japan」、「家庭クラブ研究発表大会資料」に広告掲載

③業界向け

- ・TES試験のPR企業や団体に、TAパンフレットを郵送し、TAの知名度向上および就職先の開拓を図る。
- ・TES会と連携することで、TAの認知度向上を図る。

(2) TES関連【TES部会】

①ポスター、パンフレットを業界団体・企業・行政機関等へ送付し、TESの認知度を高め、受験者数を増やす。

<依頼先>

- ・繊維関係（ファッション、インテリア、寝装寝具、産業用）の業界団体・検査機関
- ・繊維業界の有力企業
- ・ネット企業
- ・ショッピングセンターや駅ビルなどのディベロッパー
- ・国民生活センター、消費生活センター、繊維工業試験場などの行政機関
- ・教育機関（大学・専門学校ほか）

②有力企業や団体を訪問し、TESの意義を訴え受験を推奨する。

③業界専門誌、学会誌などへ試験実施要項を掲載し広報する。

④織研新聞へTES試験問題、解答、合格者の企業一覧などの情報を掲載し広報する。

(3) 会報・ミニ情報の発行【会報・ミニ情報部会】

TA、TES、協会事業などを社会（関係先）や会員にPRする。

会報	第188号（4月1日発行） 第189号（7月1日発行） 第190号（10月1日発行） 第191号（2021年1月1日発行）
ミニ情報	4月、6月、8月、10月、12月、2021年2月発行

7. 関係団体等連携事業

次のとおり委員を派遣する。

関係団体等	氏名・役職	任期
大学間連携（信州大学、福井大学、京都工芸繊維大学）共同教育推進事業『繊維系大学連合による次世代繊維・ファイバー工学分野の人材育成』	清嶋展弘常任委員 （外部委員）	2022年3月31日まで
日本繊維製品・クリーニング協議会	大橋正男常任委員 （理事）	2020年6月総会まで。その後任期2年
（一社）繊維評価技術協議会：「繊維製品の取扱い表示記号に関する標準化委員会」	近藤美文事務局長 （委員）	2021年3月31日まで
繊維ファッション産学協議会	近藤美文事務局長	—

その他、繊維の製造・加工・流通関係団体、検査機関等との連携

8. 事務局運営事業

（1）ホームページの見直しによる情報化の推進

- ・TES会行事申込時の自動受付メール送信および参加者リスト作成
- ・書籍申込受付

（2）省力化、効率化、働き方改革の推進

- ・TESの短答式試験において、マークシートを導入し、採点作業の効率化を図る。
- ・業務内容の見直し
- ・書籍、書類等の整理

（3）規程等の整備

Ⅲ. 創立50周年記念事業

2021年12月に迎える創立50周年に向けて、記念事業プロジェクトを立ち上げ、準備・推進する。

1. 組織

プロジェクト責任者は会長、プロジェクトマネージャーは副会長とし、常任委員会委員長、副委員長などにより推進する。

2. 内容

	内 容	担当
1	記念式典	
2	記念講演	
3	記念パーティー	
4	功労者表彰	大学部会・TES部会・TA部会
5	記念品	
6	50周年記念誌「協会のあゆみ」	出版部会・事務局
7	国際調査	調査部会
8	・苦情事例展示会 ・シンポジウム	TES部会
9	・公開セミナー（学生、TA向け） ・DVD製作など（高校向け）	TA部会
10	海外研修旅行（欧州方面のアパレル企業、消費者団体、環境団体など）	研修部会・大学部会

